

★新着情報（図書）

区分	ジャンル	本のタイトル	作者名など	出版社	版年	登録番号	内容
A	人権全般	悪意の心理学	著/岡本 真一郎	中公新書	2016	87197	嘘、皮肉、罵倒、偏見……。面と向かっての会話であれ、ネットでのやりとりであれ、言葉によるコミュニケーションはしばしば暴走し、相手に対して「悪意」の牙を剥く。その悪意はいじめや差別、クレーマーやセクハラ、政治家の問題発言を生む。一方で、意図していないのに加害者になってしまうこともある。悪意はなぜ生まれ、どう表現されるのか。どうすれば、悪意に立ち向かえるのか。社会心理学・言語心理学の観点から考察する。
A	人権全般	あなたにもある無意識の偏見 アンコンシャス・バイアス	著/北村 英哉	KAWADE夢新書	2021	88062	自分が気づかぬうちに人間関係を蝕んでしまう「アンコンシャスバイアス」。「歪んだ思い込み」から起きた失言や放言を例示しながら、その怖い心理を分析。好まれざる振るまいを避けるための対処法を教えます！
A	人権全般	生き心地の良い町 この自殺率の低さには理由がある	著/岡 檀	講談社	2013	88229	徳島県南部のある小さな田舎町は、全国でも極めて自殺率の低い「自殺」最「希少地域」だった。町民たちのユニークな人生観と処世術。その極意が、四年にわたる現地調査によって解き明かされていく。
A	人権全般	命を落とした七つの羽根 カナダ先住民とレイシズム、死、そして「真実」	著/タニヤ・タラガ、 訳/村上 佳代	青土社	2021	87940	1966年、12歳のチャーニーは、カナダ政府が先住民の同化政策として制度化した寄宿学校から逃げ出す途中、線路上で凍死した。死因審問の結果、悲劇を繰り返さぬよう2000年の勧告が出されたが、なんら改善策はとられなかった。それから四半世紀以上経った2009年から2011年の間、オンタリオ州のサンダーベイ市で7人の先住民の高校生が死亡した。うち5人は、先住民の聖地の麓を流れるカイ川で遺体となって発見されている。高校卒業の資格を得るために、彼らは故郷から何マイルも離れた都会で暮らしていた。将来への希望を見つける機会となるはずが、彼らが経験したのは、日常に溢れる先住民への差別と人々の無関心、そして堪え難い孤独であった。7人の若い羽根たちが辿った生と死の軌跡を丹念にたどり、彼らの家族や先住民の物語をとおして、カナダ建国の植民地時代から今日まで続く人種差別や文化的ジェノサイドの実態を鮮明に描き出す。
A	人権全般	「差別」のしくみ	著/木村 草太	朝日新聞出版	2023	88195	差別とは、強い力を持つ側が弱い立場の者を侮蔑し、尊厳をおとしめようとする。加害者と被害者の間には立場の非対称性がある。そのため、日本国憲法は14条1項後段で「差別されない」権利を保障している。「差別は許されない」ことには、ほとんどの人が賛同し、法律家の間でも差別は禁止すべきものとされる。しかし一方で、その定義は厳しく、法学界でも「差別」の語が「区別」と同義に使われることもしばしば。差別なき平等な社会を構築するために、「差別」をどのように正しく定義すればいいのか。本書では、非嫡出子の相続や同性婚・夫婦別姓をめぐる日常のテーマから、奴隷解放など人種や民族をめぐる歴史の変遷まで、差別の構造を徹底検証。差別から個人を守るため、「差別されない権利」をいかに構築していくか—気鋭の憲法学者が必要な法理論を提起する。
A	人権全般	31センチの約束	著/嘉悦 洋	西日本新聞社	2021	87643	白血病になった小学4年生の少女と、この少女のために自分ができていることをがんばる同級生の少女。ヘアドネーションを通して、なやみ、よろこび、ケンカもしながらも、少しずつ成長していく少女2人の友情の物語。
A	人権全般	人権と国家	著/筒井 清輝	岩波書店	2022	57668	今や政府・企業・組織・個人のどのレベルでも求められる「人権力」とは何か。人権の普遍化の歩みをたどり、内政干渉を嫌う国家が自らの権力を縛る人権システムの発展を許した20世紀の国際政治の逆説を解説する。さらに冷戦崩壊から今日までの国際人権の実効性を吟味し、日本の人権外交・人権実践の質を問う。
A	人権全般	すべての企業人のためのビジネスと人権入門	著/羽生田 慶介	日経BP	2022	88203	「脱炭素」の次は「人権」が来る！児童労働・差別表現・ハラスメント…企業の人権リスクへの対策を徹底解説！有名企業の「大失敗」から学ぶ人権対応。「環境ビジネス」に続く巨大市場「人権ビジネス」とは？ 図表で見るビジネスと人権、第1章 なぜ今「ビジネスと人権」なのか、第2章 失敗事例に学ぶ「ビジネスと人権」、第3章 この10年で急整備された「ビジネスと人権」のルール、第4章 ゼロから始める人権対応アクションプラン、第5章 未曾有のフロンティア「人権とビジネス」を開拓せよ、付録1企業が留意すべき主要な人権リスク、付録2自社のリスクはどこに潜む？業種別の要注意リスク例、付録3人権対応に役立つ情報ソース一覧

区分	ジャンル	本のタイトル	作者名など	出版社	版年	登録番号	内容
A	人権全般	たまごのはなし	著/しおたにまみこ	ブロンズ新社	2021	87445	日本絵本賞大賞。読むほどに引き込まれる絵童話。たまごマシマロがキッチンの外へさんぽして経験する事をユーモアを交えて描いている。
A	人権全般	多様性との対話	著/岩淵 功一	青弓社	2021	88070	LGBT、ジェンダー、移民、多文化共生、排外主義、視覚障害者、貧困、生きづらさ、当事者研究、インターセクショナルリティ、教育実践、メディア — 様々な分野の多様性との対話を通して、多様性/ダイバーシティが肯定的に奨励される問題点を批判的に検証し、差別構造の解消に向けた連帯と実践の可能性を探る。
A	人権全般	多様性ファシリテーション・ガイド 参加型学習の理論と実践	著/森田 ゆり	解放出版社	2020	87676	このガイドブックはその使用者に以下のことを提供する目的で書かれた。1.多様性についての歴史的・論理的理解を得る。2.参加型研修の理論とトレーナーに不可欠なスキルを得る。3.対話、研修、トレーニングのさまざまなモデル、方法を習得する。4.多様性が尊重される環境(職場/学校など)を育てる具体案を得る。なお、この本のなかで「多様性」とは人種や民族の違いにとどまらず、ジェンダー、障害の有無、年齢、宗教、性的指向、家族形態などの違いも視野にいたった広い概念として使われている。
A	人権全般	同調圧力 日本社会はなぜ息苦しいのか	著/鴻上 尚史、佐藤 直樹	講談社	2020	87460	生きづらいのは、あなたのせいじゃない。日本社会のカラクリ=世間のルールを解き明かし、息苦しさから解放されるためのヒント。○戦争中から変わらない「国民総自粛」 ○日本人が名刺をもらうと安心する理由 ○「世間=同調圧力」を生み出す日本独自のルール ○西欧は「社会」、日本は「世間」の大きな違い 他
A	人権全般	22世紀の民主主義	著/成田 悠輔	S B新書	2022	87213	民主主義が意識を失っている間に手綱を失った資本主義は加速している— 私たちはどこを目指せばいいのか?人類は世の初めから気づいていた。人の能力や運や資源はおぞましく不平等なこと。
A	人権全般	脳の闇	著/中野 信子	新潮新書	2023	88088	ブレない人、正しい人と言われたい、他人に認められたい・・・集団の中で、人は常に承認欲求と無縁ではられない。ともすれば無意識の情動に流され、あいまいで不安な状態を嫌う脳の仕組みは、深淵にして実にはやっかいなのだ — 自身の人生と脳科学の知見を通して、現代社会の病理と私たち人間の脳に備わる深い闇を鮮やかに解き明かす。五年にわたる思索のエッセンスを一冊に凝縮した、衝撃の人間論!
A	人権全般	ファスト&スロー(上) あなたの意思はどのように決まるか?	著/ダニエル・カーネマン、訳/村井 章子	早川書房	2014	87205	人間の意思決定メカニズムを徹底解剖する行動経済学の世界のベストセラー。整理整頓好きの青年が図書館司書である確率は高い?30ドルを確実にもらうか、80%の確率で45ドルの方がよいか?はたしてあなたは合理的に正しい判断を行っているか、本書の設問はそれを意識するきっかけとなる。人が判断エラーに陥るパターンや理由を、行動経済学・認知心理学的実験で徹底説明。心理学者にしてノーベル経済学賞受賞の著者が、幸福の感じ方から投資家・起業家の心理までわかりやすく伝える。
A	人権全般	ファスト&スロー(下) あなたの意思はどのように決まるか?	著/ダニエル・カーネマン、訳/村井 章子、解説/友野 典男	早川書房	2014	87650	私たちは日々どのように意思決定を行っているのだろうか?カーネマンによると、直感的で感情に根ざす「速い思考」と合理的で努力を要する「遅い思考」の相互作用だという。二つの思考の特徴を分析し、人がいかに錯覚に陥りやすく不合理な決定を行うかを浮彫りにする。プライベートやビジネス、政治における、よりよい判断への道筋を示し、あなたの間観、世界観を一変させる21世紀の新たな古典。(友野典男)
A	人権全般	ぼくはウーバーで捻挫し、山でシカと闘い、水俣で泣いた	著/斎藤 幸平	KADOKAWA	2022	87452	うちに閉じこもらずに、他者に出会うことが、「想像力欠乏症」を治すための方法である。だから、現場に行かなければならない。理不尽に立ち向かう人、困っている人、明日の世界のために奮闘する人・・・統計やデータからは見えない、現場の「声」から未来を考える。
A	人権全般	「待つ」ということ	著/鷲田 清一	角川選書	2006	87221	現代は、待たなくてよい社会、待つことができない社会になった。私たちは、意のままにならないもの、どうしようもないもの、じっとしているしかないもの、そういうものへの感受性をなくしはじめた。偶然を待つ、自分を越えたものにつきしたがう、未来というものの訪れを待ちうけるなど、「待つ」という行為や感覚からの認識を、臨床哲学の視点から考察する。
A	人権全般	幻の漂泊民・サンカ	著/沖浦 和光	文春文庫	2001	87247	一所不在、一畝不耕。山野河川で天幕暮し。竹細工や川魚漁を生業とし、'60年代に列島から姿を消した自由の民・サンカ。「定住・所有」の枠を軽々と越えた彼らは、原日本人の末裔なのか。中世から続く漂泊民なのか。従来の虚構を解体し、聖と賤、浄と穢から〈日本文化〉の基層を見据える沖浦民俗学の新たな成果。

区分	ジャンル	本のタイトル	作者名など	出版社	版年	登録番号	内容
A	人権全般	身の回りから人権を考える 80のヒント	著/武部 康広	解放出版社	2020	87239	JAグループ滋賀の役員員向けに発行している人権啓発資料のなかの、著者が人権啓発担当者として書いてきた記事を整理したもの。2008年5月号（No.150）～2018年12月号（No.277）までの中から80篇を選んで収録。（差別と人権、人権への取り組みと課題、多様性とダイバーシティ、文化にふれる）
A	人権全般	夜と霧 新版	著/ヴィクトール・E・フランクル、訳/池田 香代子	みすず書房	2002	87254	心理学者、強制収容所を体験する一飾りのないこの原題から、永遠のロングセラーは生まれた。〈人間とは何か〉を描いた静かな書を、新訳・新編集でおくる。
A	人権全般	悪口ってなんだろう	著/和泉 悠	筑摩書房	2023	88211	悪口はどうして悪いのか。友だち同士の軽口とはなにが違うのか。悪口を言うことはなぜ面白いのか。負の側面から人間の本質に迫る。
B	同和問題	おおさこのかや 1	文/かとうよういち 絵/木村かよこ	海鳥社	1991	87478	少女、かやを優しく包み込む、ムラの自然と、かやのすこやかな成長。
B	同和問題	おおさこのかや 2 とうちゃんのひざし	文/かとうよういち 絵/木村かよこ	海鳥社	1992	87486	かやの父親の突然の死と、これを乗り越えて生きる姿。
B	同和問題	おおさこのかや 3 おおさこの灯	文/かとうよういち 絵/木村かよこ	海鳥社	1992	87494	小学校進学による初めての差別との出会い。
B	同和問題	おおさこのかや 4 四月の坂道	文/かとうよういち 絵/木村かよこ	海鳥社	1992	87502	中学校での進路をめぐる葛藤や就職差別の体験。
B	同和問題	差別する人の研究	著/阿久澤 麻理子	旬報社	2023	88096	なぜ、差別「する人」を研究するのか。それは、差別をなくすためである。誰かの権利の行使を「区別・排除し妨害する」のは、差別「する人（側）」である。この定義は明快で、そこに、差別を受ける当事者に責を帰す思想はない。差別は「する人（側）」の問題なのである。だから、差別に向き合うには、「する人（側）」の意識や行動、そしてそれを許容し続ける社会の構造を研究する必要がある。
B	同和問題	全国のあいつぐ差別事件 二〇二〇年度版	編・発行/部落解放・人権政策確立要求中央実行委員会	解放出版社	2020	88245	「部落差別解消推進法」の具体化のとりくみ、「全国部落調査」復刻版出版事件、鳥取ループ・示現舎「部落探訪」差別事件、戸籍謄本等不正取得事件、土地差別調査事件、公的機関・職員による差別事件、差別投書・落書き・電話、インターネットによる差別事件、ヘイトスピーチによる差別事件、地域社会における差別事件、就職差別事件、結婚にかかわる差別事件、教育現場における差別事件、宗教界における差別事件、マスコミ・出版界における差別事件、エセ同和事件。
B	同和問題	全国のあいつぐ差別事件 二〇二一年度版	編・発行/部落解放・人権政策確立要求中央実行委員会	解放出版社	2021	88252	「部落差別解消推進法」の具体化のとりくみ、「全国部落調査」復刻版出版事件、鳥取ループ・示現舎「部落探訪」差別事件、戸籍謄本等不正取得事件、土地差別調査事件、公的機関・職員による差別事件、差別投書・落書き・電話、インターネットによる差別事件、ヘイトスピーチによる差別事件、地域社会における差別事件、就職差別事件、結婚にかかわる差別事件、教育現場における差別事件、宗教界における差別事件、マスコミ・出版界における差別事件、エセ同和事件。
B	同和問題	全国のあいつぐ差別事件 二〇二二年度版	編・発行/部落解放・人権政策確立要求中央実行委員会	解放出版社	2022	88260	「全国部落調査」復刻版出版事件、戸籍謄本等不正取得事件、土地差別調査事件、差別投書・落書き・電話、インターネット上の部落差別、地域社会での差別事件、教育現場における差別事件、宗教界における差別事件。
B	同和問題	全国のあいつぐ差別事件 2023年度版	編・発行/部落解放・人権政策確立要求中央実行委員会	解放出版社	2023	88278	「全国部落調査」復刻版出版事件、「部落差別解消推進法」の具体化のとりくみ、戸籍謄本等不正取得事件、土地差別調査事件、差別投書・落書き・電話、インターネット上の部落差別、地域社会での差別事件、宗教界における差別事件、マスコミ・出版界における差別事件。
B	同和問題	〈寝た子〉なんているの？ 見えづらい部落差別と私の日常	著/上川 多実	里山社	2024	88237	関西の部落出身者で解放運動をする両親のもと、東京の部落ではない町で生まれ育った著者。家では「差別に負けるな」と言われ、外では「部落なんて知らない」と言う人に囲まれ、混乱しながら大人になる。「運動体」から離れて、日常の中から部落差別を考えていくという自分の道を歩み始めた著者は、2児のシングルマザーとなり、子どもに、ママ友に〈部落問題〉を伝える方法を模索していく。

区分	ジャンル	本のタイトル	作者名など	出版社	版年	登録番号	内容
B	同和問題	『寝た子』はネットで起こされる!? ネット人権侵害と部落差別	著/川口 泰司	福岡県人権研究所	2023	87692	2016年「部落差別解消推進法」が成立・施行した。インターネットやSNSを悪用した差別の悪化・深刻化が立法事実となった。ネット上で拡散するデマや偏見。ネット版「部落地名総監」や部落出身者リスト、部落を撮影した動画や画像がアップされている。部落/出身者を「暴き」「晒す」差別扇動が続いている。もう、「寝た子を起こすな」論は通用しない。「寝た子」はネットで起こされる。全国水平社創立から百年を迎えた今、部落差別の現実、差別禁止法の必要性、ネット対策、人権教育のあり方について考える。
B	同和問題	満州分村移民と部落差別	著/エイミーツジモト	えにし書房	2022	87684	被差別部落の融和事業、農村の満州開学移民事業の国策が重なった形で大陸に送り出された「来民開拓団」。敗戦とともに原住民の襲撃にあい、多くの子どもを含む276人全員（1人だけ証言のため脱出）が自決するに至った全容を、歴史的背景から当事者の証言、資料を丹念に積み重ね、現在までを追ひ、悲劇の要因としての国策を厳しく断罪。ソ連兵への「性接待」で知られる黒川開拓団との関係など2、貴重な史実多数。
C	女性に関する人権問題	炎上CMでよみとくジェンダー論	著/瀬地山 角	光文社新書	2020	87262	ここ数年、企業のCMや自治体のPR動画が炎上し、メディアに取り上げられることが増えています。そうした話題になったCMをどう思うか?という取材の依頼からパターンを見出し、そんな経験をベースにしながらジェンダーの視点から批判を受けたCMについて考えてみる。東大で大人気!名物講義の番外編。
C	女性に関する人権問題	職場で使えるジェンダー・ハラスメント対策ブック	著/小林 敦子	現代書館	2023	88104	ジェンダー・ハラスメントとは、性役割（性別により役割を固定する）に関するハラスメントで、本書は、ジェンダーにまつわる差別的行為を世の中から少しでもなくしていくために、組織のジェンダー・ハラスメントの実態を分析し、対策方法をまとめたものです。
C	女性に関する人権問題	10代から知っておきたい女性を閉じ込める「ずるい言葉」	著/森山 至貴	WAVE出版	2023	87270	大人より弱い立場にある子どもが「ずるい言葉」に言いくるめられないようにするためのヒントを、差別を考える社会学者が伝授。”カクレ悪意”やカンチガイ善意”を見抜いて一生自分らしく生きていく強さを身につける! SNSで支持された、話題の本。
C	女性に関する人権問題	女性の自立をはばむもの「主婦」という生き方と新宗教の家族観	著/いのうえせつこ	花伝社	2023	87718	貧困に釘付けられた「主婦」たちは、新宗教に規律と居場所を求めた。なぜ女性たちは、古い家族観を振りかざす宗教にからめ取られるのか?
C	女性に関する人権問題	性暴力を受けたわたしは、今日もその後を生きています。	著/池田 鮎美	梨の木舎	2023	87726	幼馴染の死の真相は性暴力によるものだった。立ちすくむ16歳のわたしは、まだ、自分自身も性暴力に遭うことになるとは、思いもしなかった。性暴力被害者自身による9000日の記録。
C	女性に関する人権問題	なぜ男女の賃金に格差があるのか 女性の生き方の経済学	著/クラウディア・ゴールディン、訳/鹿田 昌美	慶応義塾大学出版会	2023	87510	ジェンダー平等が進んできた現在でも残る男女格差。その構造を歴史と繊細なデータから解き明かす。
C	女性に関する人権問題	論点・ジェンダー史学	編著/山口みどり、弓削 尚子、後藤 絵美、長志珠 絵、石川 照子	ミネルヴァ書房	2023	87700	ジェンダーで歴史を読み解こう。ジェンダーの視点は、歴史の見え方を変えてきました。本書は、歴史学に新しい地平を開いてきたジェンダー史研究の「論点」を集めています。日本を含むアジア、ヨーロッパ、アメリカ、アフリカを中心に、「社会」「家族」「身体」「文化」「政治」などからバランスよく精選された全113の論点と、各時代及び地域の特色溢れるトピックとして36のコラムを収載。語句解説やクロスレファレンス、映画や小説を使ったアクティビティ、巻末資料も充実しています。
D	子どもに関する人権問題	かがみの孤城（上）	著/辻村 深月	ポプラ社	2021	88302	学校での居場所をなくし、閉じこもっていた”こころ”の目の前で、ある日突然部屋の鍵が光り始めた。輝く鏡をくぐり抜けた先にあったのは、城のような建物。そこにはオオカミの面をつけた少女が待ち受け、こころを含め、似た境遇の7人が集められていた。城に隠された鍵を探すことで願いが叶えられるという。すべてが明らかになるとき、驚きとともに大きな感動に包まれる。本屋大賞受賞作。
D	子どもに関する人権問題	かがみの孤城（下）	著/辻村 深月	ポプラ社	2021	88310	学校での居場所をなくし、家に閉じこもっていた”こころ”は、部屋の鏡をくぐり抜けた先にある城に通うようになる。そこで出会ったのは、境遇の似た仲間たち。8人それぞれの事情が少しずつ明らかになるなか、城の終わりの日が刻々と近づいてくる。鍵は見つかるのか、果たしてこの中の誰の願いが叶うのか。ラストには驚きと大きな感動が待つ。本屋大賞受賞作。

区分	ジャンル	本のタイトル	作者名など	出版社	版年	登録番号	内容
D	子どもに関する人権問題	かすがい食堂 1	著/伽古屋 圭市	小学館	2021	87528	憧れの映像業界に入ったものの、激務によって心身ともにダメージを負った楓子は、祖母が営む東京・下町の駄菓子屋「かすがい」を継いだ。貧困や摂食障害など問題を抱える子どもたちに、楓子は店の奥の台所で食事を提供することにした。賑やかで温かい食卓が、居場所を失った子どもたちを救う。
D	子どもに関する人権問題	かすがい食堂 2 あしたの色	著/伽古屋 圭市	小学館	2021	87536	祖母が営む東京・下町の駄菓子屋「かすがい」を楓子が継ぎ、店の奥で子ども食堂を始めて一年が経った。常連の垂香音が出中中の友人を連れてきた。髪を染めたことが学校でも家でも認められないという。参加者は事情を抱えた子どものみ。買い出しも調理もみんなで行き、食卓を囲みながら話し合う。一風変わった食堂で、家出少女の悩みは解決されるのか？日本語を話す肌の黒い少年、母親に呼び寄せられたベトナム人の少女など多様なお客様を迎える。社会の「今」を映すシリーズ第二弾。
D	子どもに関する人権問題	かすがい食堂 夢のゆくさき	著/伽古屋 圭市	小学館	2023	88286	この食堂のお節介は温かくておいしい！映像業界を離れた春日井楓子が、祖母から駄菓子屋かすがいを引き継ぎ、その店の奥で子ども食堂を始めて2年が経った。事情を抱える子どもを対象に、1回200円で週に2回。買い物も調理も一緒に行い、みんなで食卓を囲む一風変わった子ども食堂だ。ある日、なじみの商店街の店員から、毎日家の料理を作っているという少女の話聞いた。「感心な子」だと言う。ヤングケアラーを疑った楓子が本人に尋ねると、怪我を負った母親の世話と家族の家事を一人でしていると答えた。楓子は子ども食堂に来ないかと誘うが、けんもほろろに断られてしまう……。社会を繋ぐ下町の子ども食堂物語。人気シリーズ最新作。
D	子どもに関する人権問題	子どもたちに民主主義を教えよう	著/工藤 勇一・苫野 一徳	英治出版	2022	87288	学校は、必ず変えられる。教育の未来を描き直す必読の書！〈学校改革の旗手〉工藤勇一と〈気悦の教育哲学者〉苫野一徳の対談形式で書かれている。
D	子どもに関する人権問題	子どもの権利 次世代につなぐ	著/喜多 明人	エイデル研究所	2015	88112	子どもの問題について、子どもの権利の視点を欠けば、決して解決しないと考えられる実践課題について問い直し、考察してきた「子どもの権利」の普及の書。この本を通して、子どもの権利を次世代につなぐ書となってほしい、と作者の思いが込められている。
D	子どもに関する人権問題	10代のうちに考えておきたいジェンダーの話	著/堀内 かおる	岩波ジュニア新書	2023	88120	「女子は理系が苦手、男子は文系が苦手」「男子は青系が好き、女子はピンク系が好き」って誰が決めたのでしょうか？10代が直面するジェンダーの問題を、過去・現在、そして未来に向けて考察します。自分らしさとは何か、バイアスとは何かを自分ゴトとして考えた先に、多様性を認め合う社会をつくるヒントが見えてきます。
D	子どもに関する人権問題	非行少年たちの神様	著/堀井 智帆	青灯社	2022	87734	親の虐待と子の非行。感動の21年、寄り添う支援。7人の父親を持つ少女、母親の薬物中毒、父の性暴力、家出した母親。虐待された生い立ち、寂しさや怒り、そして非行。万引常習、援助交際、暴力、薬物……。立ち直りのため母親代わりに、非行の根っこに寄り添った壮絶な記録。
D	子どもに関する人権問題	むこう岸	著/安田 夏菜	講談社	2018	88294	和真は有名進学校で落ちこぼれ、中三で公立中学に転校した。父を亡くした樹希は、母と妹と三人、生活保護を受けて暮らしている。『カフェ・居場所』で顔を合わせながら、お互いの環境を理解できないものとして疎ましく思う二人だったが、『貧しさゆえに機会を奪われる』ことの不条理に、できることを模索していく。立ちほだかる「貧困」に対し、中学生にも、為す術はある。
D	子どもに関する人権問題	ヤングケアラー 介護する子どもたち	毎日新聞取材班	毎日新聞出版	2021	87551	ほとんど知られていなかった若者による、家族の介護の実態。取材班の報道をきっかけに、自治体が調査を開始、そして国が動き出す。第25回新聞労連ジャーナリズム大賞・優秀賞。ヤングケアラーの多くは思春期に当たり、ケア（介護や世話）の内容は家事、身体的な介助、見守り、情緒面のサポートなど多岐にわたる。彼らは成人した介護者と違ってまだ社会経験が乏しく、年相応以上の責任や役割を課されてしまった場合、学校生活や心身の健康に影響が生じ、遅刻や欠席、成績の低下や友人関係に支障が出ることも少なくないとされる。確実に存在しているはずのヤングケアラーは社会の陰に埋もれ、多くの人々の目に入らない「透明な存在」だった。

区分	ジャンル	本のタイトル	作者名など	出版社	版年	登録番号	内容
D	子どもに関する人権問題	「ヤングケアラー」とは誰か	著/村上 靖彦	朝日新聞出版	2022	87544	「ヤングケアラー」とは、身体的介護や家事労働をする子どもである前に、家族を気づかう子どもなのだ。覚醒剤依存の母親を「守ってあげない」と想う小学生の少女。自分が学校にいる間に母親が緊急入院し、「すごい申し訳ない」と罪悪感を募らせる男子中学生。うつ病で過量服薬を繰り返す母親による束縛に苦しみながらも「心配で寝れない」と学校に行けなくなる女子中学生……。ヤングケアラーという言葉が子どもラベリングする”記号”として流通し問題が可視化される一方で、親が責められないようにと沈黙し、孤立が深まる子どももいる。その経験や想いは複雑だ。本書は、当事者の語りのディテールを掘り下げ、当人の視点からヤングケアラー像を浮かび上がらせていく。困難の本質を明らかにすることで、地域に根差した居場所と、家族を包括する伴走型支援の必要性が見えてくる。
E	高齢者に関する人権問題	終わった人	著/内館 牧子	講談社文庫	2018	87759	大手銀行の出世コースから子会社に出向、転籍させられ、そのまま定年を迎えた田代社介。仕事一筋だった彼は途方に暮れた。生き甲斐を求め、居場所を探して、悪い、あがき続ける男に再生の時は訪れるのか？ある人物との出会いが、彼の運命の歯車を回す。日本中で大反響を巻き起こした大ヒット「定年」小説！
E	高齢者に関する人権問題	「幸福な老い」と世代間関係 職場と地域におけるエイジズム調査分析	著/原田 謙	勁草書房	2020	87973	エイジズム（「年齢にもとづく偏見・差別」）はどんな要因により起こるのか。世代間関係は高齢者の幸福感にどう影響しているのか。エイジズムをめぐる心理・社会調査データ分析を通じ、職場と地域における世代間関係を再考、今後の社会やまちづくりを考える。
E	高齢者に関する人権問題	今度生まれたら	著/内館 牧子	講談社文庫	2023	87775	大手銀行の出世コースから子会社に出向、転籍させられ、そのまま定年を迎えた田代社介。仕事一筋だった彼は途方に暮れた。生き甲斐を求め、居場所を探して、悪い、あがき続ける男に再生の時は訪れるのか？ある人物との出会いが、彼の運命の歯車を回す。日本中で大反響を巻き起こした大ヒット「定年」小説！
E	高齢者に関する人権問題	すぐ死ぬんだから	著/内館 牧子	講談社文庫	2021	87767	78歳の忍ハナは、60代までは身の回りをかまわなかった。だがある日、実年齢より上に見られて目が覚める。「人は中身より外見を磨かねば」と。仲のいい夫と経営してきた酒屋は息子夫婦に譲っているが、夫が倒れたことから、思いがけない裏を知ることになる。人生100年時代の大ベストセラー痛快「終活」小説！
E	高齢者に関する人権問題	だいじょうぶだよ 一ぼくのおばあちゃんー	作/長谷川 和夫、 絵/池田げんえい	ぱーそん書房	2018	87742	もし おばあちゃんが「いろいろ わすれる びょうき」になったら……。このお話は、認知症療養に長く携わってきた作者の家で実際に起きた出来事です。今、そして未来を生きることもたちに伝えたい、作者の思いとは……。
E	高齢者に関する人権問題	認知症になった蛭子さん	著/蛭子 能収	光文社	2021	87569	”きれいごと”では解決しない。悠加さん（蛭子さん妻）の「介護」相談も収録！2020年7月、認知症であることを公表した蛭子さんに起こった”過酷な現実”をいちばん近くで見てきた妻・悠加さんが初告白。”きれいごと”だけでは解決しない悩みに、介護の先輩が本音で答えます。さらに、公表後も続ける人気コラム「蛭子能収のゆるゆる人生相談」傑作選を収録。介護する家族の心を「楽」にする考え方が、ここにあります。
E	高齢者に関する人権問題	老害の人	著/内館 牧子	講談社	2022	87783	戸山福太郎は85歳。とっくに第一線を退いてはいるが、誰彼かまわず捕まえては現役時代の同じ手柄話をくり返す。彼の仲間も老害の人ばかり。素人俳句に下手な絵をそえた句集を配る吉田夫妻に、「私はもう死ぬ」と言い続ける春子など、「老害五重奏」は絶好調。「もうやめてよっ」福太郎の娘・明代はある日、たまりかねて腹の中をぶちまけた。
F	障がい者に関する人権	今日も明日も負け犬。	著/小田 実里	幻冬舎	2024	88336	起立性調節障害という病を抱え、学校に行けなくなった中学生の実話に基づく物語。
F	障がい者に関する人権	しにたい気持ちが消えるまで	著/豆塚 エリ	三栄書房	2022	87338	死のうとしても、身体は生きたがる 手抜きしつつ、一緒に生きていこう。十六歳でベランダから飛び降りて車椅子になった どうして、あんなにも死にたかったのか 長い間、自分を見つめてきた 死にたい人にとって、言葉は、他者は無力だけれど それでも、生きることがつらい人たちに届きますように。

区分	ジャンル	本のタイトル	作者名など	出版社	版年	登録番号	内容
F	障がい者に関する人権	「社会」を扱う新たなモード 「障害の社会モデル」の使い方	著/飯野 由里子、星加 良司、西倉 実季	生活書院	2022	87981	この「社会」は偏っている！時に小さく時に大きく「社会」の範囲を見積もることで「偏り」を隠微に維持しようとする権力装置。矮小化された「障害の社会モデル」理解をアップデートすることによって、「マジョリティ性の壁」を見定め突き崩すための思考の在り方=新たなモードを提示する。
F	障がい者に関する人権	虹色の朝陽 発達障害を持つ息子との8年間	著/中尾 きみか	主婦の友社	2022	87890 87908	発達障害の息子を持つ作者が、息子の5歳の誕生日にYouTubeにあげたスライドショーがきっかけで、同じ子育てに悩んでいる保護者の方が多いことに気付き、少しでも何かヒントになればと、自分の8年間の子育ての記録を綴ったもの。
F	障がい者に関する人権	発達障害者は〈擬態〉する	著/横道 誠	明石書店	2024	88328	擬態とは、周囲に合わせるために自分の魂を殺害しつづける行為である。自らも発達障害の当事者であり、自助グループを運営する著者が、当事者の間ではよく知られながら、支援現場ではまだ浸透していない発達障害者の〈擬態〉について11名にインタビュー。当事者の「生きた声」と「発達障害者の内側から見た体験世界」をリアルに伝える入門書。
F	障がい者に関する人権	発達障害という才能	著/岩波 明	S B新書	2021	87296	オードリー・タンやイーロン・マスクといった、閉塞した社会を打破っていく才能の持ち主や、天才と呼ばれる芸術家、歴史上の偉人たちの中にも、発達障害の傾向がみられることが多いという。「過剰集中」や、「マインド・ワンダリング」という特性が、創造性が必要とされる仕事を成し遂げるにあたって、大きな力を発揮するというのだ。では、どのような環境でその能力が開花したのか。その秘密に迫っていく。
F	障がい者に関する人権	葉っぱ切り絵絵本 素敵な空が見えるよ、明日もきっと小さな優しい森の仲間たち	著/リト@葉っぱ切り絵	講談社	2022	87320	ようこそ、小さな優しい7つの森へ 心を癒す葉っぱの上の78の物語。葉っぱ切り絵作品集・第3弾！
F	障がい者に関する人権	葉っぱ切り絵コレクション いつでも君のそばにいる小さな優しい世界	著/リト@葉っぱ切り絵	講談社	2021	87312	見て、読んで、幸せな気持ちになれる絵本みたいな切り絵作品。自身のADHDによる偏った集中力やこだわりを前向きに生かすために、2020年より独学で制作をスタート。TwitterやInstagramに毎日のように投稿する葉っぱ切り絵が注目を集め、その作品は、TV、新聞、国内メディアで次々と紹介されるほか、世界各国のネットメディアでも驚きをもって取り上げられる。
F	障がい者に関する人権	バスが来ましたよ	文/由美村嬉々、 絵/松本春野	アリス館	2022	87585	多くのメディアで話題の実話を絵本化！目の病気から全盲になった男性が、地元小学生に助けられながら続けた、バス通勤。「バスが来ましたよ」その声はやがて、次々と受け継がれ……。温かい小さな手の、そして小さな親切の物語。
F	障がい者に関する人権	ハンチバック	著/市川 沙央	文藝春秋	2023	87791	井沢釈華の背骨は右肺を押し潰すかたちで極度に湾曲している。両親が終の住処として遺したグループホームの、十畳ほどの部屋から釈華は、某有名私大の通信課程に通い、しかないコタツ記事を書いては収入の全額を寄付し、18禁TL小説をサイトに投稿し、零細アカウントで「生まれ変わったら高級娼婦になりたい」と呟く。ところがある日、グループホームのヘルパー・田中に、Twitterのアカウントを知られていることが発覚しー。
F	障がい者に関する人権	目の見えない白鳥さんとアートを見にいく	著/川内 有緒	集英社	2021	87304	「白鳥建二さん、五十一歳、全盲。年に何十回も美術館に通うー。「白鳥さんと作品を見るとほんとうに楽しいよ！」という友人のマイティの一言で、アートを巡る旅が始まった。絵画や仏像、現代美術を前にして会話をしていると新しい世界の扉がどんどん開き、それまで見えていなかったことが見えてきた。アートの意味、生きること、障害を持つこと。一緒に笑うこと。白鳥さんとアートを旅して、見えてきたことの物語。
F	障がい者に関する人権	ゆかりんは四つ葉のクローバー	著/原 孝雄	東洋出版	2023	87577	脳性麻痺の障がいを持って生まれた娘・ゆかりんとの自然体の日々を綴ったコミカルなイラストエッセイ！「できるところやいいところを掘り起こしていけば、明るく楽しい前向きな生き方が見えてくる」
G	外国人に関する人権問題	ウトロ ここで生き、ここで死ぬ	著/中村 一成	三一書房	2022	87353	ウトロの住民たちの記憶と願いを擦り合わせ、今後の闘いの肝を記した宣言「オモニの歌」止めどなく後退していくこの世界で、様々な位相で、とどまって闘い抜いた者たち。本書は、その記録である。

区分	ジャンル	本のタイトル	作者名など	出版社	版年	登録番号	内容
G	外国人に関する人権問題	外国人まかせ 失われた30年と技能実習生	著/澤田 晃宏	サイゾー	2022	87346	外国人が働く現場を徹底ルポ！低賃金で退屈な仕事を外国人に押し付ける「人手不足の不都合な真実」と、彼らに見限られる日本の恐ろしき未来。
G	外国人に関する人権問題	彼女はなぜ、この国で 入管に奪われたいのちと尊厳	著/和田 浩明、毎日新聞入管難民問題取材班	大月書店	2022	87601	収容施設で非業の死を遂げた若きスリランカ人女性。真相究明を求める弁護士や支援者、若者たちの姿から真の共生社会を問う。入管問題を熟知する記者の真摯な取材が浮き彫りにする、ウィッシュマンさん事件の全貌。
G	外国人に関する人権問題	韓国 人権紀行 私たちには記憶すべきことがある	著/朴 來群（パク・レグン）、訳/真鍋 祐子	高文研	2022	87361	光州虐殺の責任者処罰を要求して焼身自殺した弟の遺志を受けた人権活動家が、済州島・光州・ソウルなど帝国日本と軍事独裁政権の加害の現場を歩き、犠牲となった人びとの哭声に耳を澄ます。
G	外国人に関する人権問題	人種差別の世界史 白人性とは何か？	著/藤川 隆男	刀水書房	2011	87999	白人性ということをこのごろ考えています。「人種とはどういうもんやろか。差異と差別はどちらがうんやろか」・・・いろいろ疑問が浮かんできて、この本ができました。ところで、「エビちゃんは白人か？」って、お馬鹿な質問ですが、でも少しだけつき合ってください。
G	外国人に関する人権問題	それはわたしが外国人だから？ 日本の入管で起こっていること	著/安田 菜津紀、絵・文/金井 真紀	ヘウレーカ	2024	88344	あちらこちらで見たり聞いたりする「多様性を大切にしよう」というスローガン。でも、わたしたちの社会はほんとうに多様性が守られている？一人ひとりが大切にされている？この本では、日本以外の国籍を持っている人や、外国にルーツをもつ人たちのなかで、人間らしい生活ができない状況に追い込まれている人たちのことについて、いっしょに考えていきます。子どもにもおとなにも知ってほしい、わたしたちとともに生きている人たちのことを。家族とくらしたい。働きたい、自由に移動したい、病院にかかりたい・・・。そんなあたりまえの権利が守られていない現実を。（全ふりがな付）
G	外国人に関する人権問題	ふるさとして呼んでもいいですか	著/ナディ、解説/山口 元一	大月書店	2019	87593	父の「出稼ぎ」でイランから日本に家族でやってきた少女ナディ。このナディが日本で経験した、楽しい時期、つらい時期、色んな事を乗り越えてきた中で、自分が思ってきたことや、日本になじむまでの経験談をまとめてあります。
H	HIV感染者などに関する人権問題	いのちの初夜	著/北條 民雄	KADAKAWA	2020	87809	しみじみと思う。怖い病気に憑かれしものかな、と一。若くしてハンセン病を患った青年は、半ば強制的に収容施設に入所させられる。自分の運命を呪い、一度は自殺すら考えた青年を絶望の淵から救い出したのは、文学に対する止めどない情熱だった。差別と病魔との闘いの果て、23歳夭折した著者が描く、力強い生命の脈動。施設入所初日のできごとを克明に綴った表題作をはじめ、魂を震わす珠玉の短編8編を収録。
I	様々な人権問題	アイヌもやもや	著/北原モコットウナシ、漫画/田房 永子	303B00KS	2023	88351	教科書に載っているのは、伝統的な衣装をまとった姿だけ。北海道を舞台にしたドラマにも出てこない。無知、無理解、そして差別が見えにくくなる社会の仕組み・・・。アイヌをとりまく「もや」の正体を作者が徹底考察する。「アイヌに会ったことがない」、それって本当ですか？わたしたちの存在、見えますか？令和に生きるアイヌたちの姿を、漫画で描く。
I	様々な人権問題	カスハラ の犯罪心理学	著/桐生 正幸	集英社インターナショナル	2023	87841	「カスタマー・ハラスメント（カスハラ）」とは、従業員への悪質なクレームや物理的・精神的な嫌がらせを指す。「店員にキレル客」を誰も見たことがあるように、カスハラは日本で大量発生している。2022年2月には、厚生労働省から「カスタマーハラスメント対策企業マニュアル」も発表され、話題を呼んだ。なぜカスハラは生まれるのか？どう対処すべきか？犯罪心理学者が、豊富な調査実績を基にカスハラ
I	様々な人権問題	これからの時代を生き抜くための ジェンダー&セクシュアリティ論入門	著/三橋 順子	辰巳出版	2023	88377	「性」の有り様を知ることで私たちはもっと自由になる。「違いがあっていいんだよ」—トランスジェンダー研究者による10年以上続く明治大学での講義を書籍化。

区分	ジャンル	本のタイトル	著者名など	出版社	版年	登録番号	内容
I	様々な人権問題	差別は思いやりでは解決しない ジェンダーやLGBTQから考える	著/神谷 悠一	集英社新書	2022	88005	「ジェンダー平等」がSDGsの目標に掲げられる現在、大学では関連の授業に人気が集出し企業では研修が盛んに行われているテーマであるにもかかわらず、いまだに差別については「思いやりが大事」という心の問題として捉えられることが多い。なぜ差別は「思いやり」の問題に回収され、その先の議論に進めないのか？女性差別と性的少数者差別をめぐる現状に目を向け、その構造を理解し、制度について考察。「思いやり」から脱して社会を変えていくために。いま必要な1冊。
I	様々な人権問題	進化が同性愛を用意した ジェンダー	著/坂口 菊恵	創元社	2023	87825	いまだに「普通ではない」という目を向けられがちな同性愛だが、実は、地球上の生物の間では、同性愛はまったく珍しくない。実に1500種を超える動物で、同性間の性行動が観察されているからだ。しかし、なぜ、子どもを残さないはずの同性間性行動がこれほど盛んなのだろうか？どうして、ヒトの社会では同性愛が抑圧されてきたのだろうか？ジェンダーかセックスかという既存の枠組みを超え、性の多様性の本当の意味を明らかにする。
I	様々な人権問題	人生の並木道 ハンセン病療養所の手紙	著/川崎 正明	編集工房ノア	2020	88013	全国十三の国立ハンセン病療養所の人々との出会い。隔離されて生きる、忍耐と勇気の人生に、キリスト教牧師として向き合う。長年の交流と、わが並木道を刻む。生命の讃歌。
I	様々な人権問題	正々堂々 私が好きな私で生きていいんだ	著/西村 宏堂	サンマーク出版	2020	87619	LGBTQで、僧侶で、メイクアップアーティストが説く、自分を大事にする生き方。周囲の人たちを違うセクシュアリティを隠し続け、自分は劣等なのだと思いきや。他人に笑われたり、批判されることにビクビクしながら、自分が“普通じゃない”ことに罪悪感を感じ、正直な気持ちを隠しながら……。そんな人生が20歳でニューヨークの美大に進学したところから、堂々と自分を主張する学生や先生たちに囲まれて変化していきます。僧侶の修行に入る直前の24歳の時に、両親へのカムアウトを果たし、頭上のクモの巣が、スパッと払いのけられ、人生が切キラキラと輝きだした。そこから、色んな機会に恵まれ、自分の経験と想いを伝えるチャンスがめぐってくる。
I	様々な人権問題	だがし屋のおっちゃんはおばちゃんなのか？	著/多屋 光孫	汐文社	2022	87387	ぼくとまきちゃんがいつも行くだがし屋。店のおっちゃんはきん肉ムキムキで、大きな声で「ガハハ」と笑い、そしていつも下品……。ぼくはある日、そんなおっちゃんが「はるこ」とよばれるところを目撃する。まきちゃんと相談して、店に真相をたしかめに行くこと……。
I	様々な人権問題	中学生の授業でネット中傷を考えた 指先一つで加害者にならないために	著/宇多川はるか	講談社	2023	87833	私立開成中学校の国語の授業で取り上げられたテーマは「ネットの誹謗中傷」。殺人事件に関与したというネット上のデマに苦しめられた体験を綴った、スマイリーキクチ氏の『突然、僕は殺人犯にされた』を課題図書に、思考をめぐらせ、考えをまとめていく生徒たち。言葉の暴力による「加害者」にならないための、全六回にわたる授業を完全再現した。
I	様々な人権問題	同性婚と司法	著/千葉 勝美	岩波新書	2024	88369	元最高裁判事の著者が安全圏から一歩踏み出し、「同性婚を認めない法制度は憲法違反か？」という今日の問いに挑む意欲作。多数派から疎外された少数者を護るのは誰か。司法の役割とは何であるか。性とは、結婚とは、平等とは。「個人の尊厳」とは何か。憲法の精神を生かすも殺すも、法解釈の担い手にかかっている。
I	様々な人権問題	トランスジェンダー入門	著/周司あきら、高井ゆと里	集英社新書	2023	87858	トランスジェンダーとはどのような人たちなのか。性別を変えるには何をしなければいけないのか。トランスの人たちはどのような差別に苦しめられているのか。そして、この社会には何が求められているのか。これまで「LGBT」と一括りにされることが多かった「T=トランスジェンダー」について、さまざまなデータを用いて現状を明らかにすると共に、医療や法律をはじめその全体像をつかむことのできる、本邦初の入門書となる。トランスジェンダーについて知りたい当事者およびその力になりたい人が、最初に手にしたい一冊。
I	様々な人権問題	慣れろ、おちよくれ、踏み外せ 性と身体をめぐるクィアな対話	著/森山 至貴、能町みね子	朝日出版社	2023	87817	本書には、編集者二人の質問、そして森山氏と能町氏のお互いに対する手紙を出発点としてなされた、6つの対話が収められている。「LGBT」という言葉に回収されない性の多様性について語るどころから始まり、「セクシュアル・マイノリティ当事者」であることに対する率直な心境の吐露とそこから見える景色を共有したうえで、好戦的であり、とどまるところを知らないクィアの機軸と批判のスピリットを、具体的なトピックの間を縫いながらふたりで味わっていく、という流れ。

区分	ジャンル	本のタイトル	作者名など	出版社	版年	登録番号	内容
I	様々な人権問題	ファスト教養 10分で答えが欲しい人たち	著/レジー	集英社新書	2022	87379	社交スキルアップのために古典を読み、名著の内容をYouTubeでチェック、財テクや論破術をインフルエンサーから学び「自分の価値」を上げる—このような「教養論」がビジネスパーソンの間で広まっている。その状況を、一般企業に勤めながらライターとして活動する著者は「ファスト教養」と名付けた。「稼ぐが勝ち」と言い切る起業家、「スキルアップ」を説くカリスマ著述家、他人を簡単に「バカ」と分類するインフルエンサーなど、人々に支持されてきた言葉を分析し、社会に広まる「息苦しさ」の正体を明らかにする。
I	様々な人権問題	みなまたの木	著/三枝 三七子	地湧社	2018	88021	すぐ傍にある家の家族や水俣の人々を、海辺にずっと立っている松の木は見てきた。松の木が見てきた水俣病を、絵本で分かりやすく描いている。
I	様々な人権問題	ヤギと少年、洞窟の中へ	作/池澤 夏樹、 絵/黒田 征太郎	スイッチ・パブリッシング	2023	87866	飼っていたヤギのピンギを追って、少年は洞窟の中へ。洞窟の奥へ進んで行くと、そこに一人の若い女の人が。その人は、沖縄戦で亡くなった看護婦さんだった。看護婦さんは、少年に当時の沖縄戦の出来事を話始めた。そして、少年にあるお願い事をする。
M	マンガ	宇宙兄弟 41	小山 宙哉	講談社	2022	87403	幼少期に謎のUF0を目撃した兄弟は「一緒に宇宙飛行士になろう」と誓い合う。それから19年後、夢を叶えて宇宙飛行士になった弟。一時期夢をあきらめていた兄も再び宇宙を目指すことを決意。そして、兄弟が様々な問題に対して奮闘する様を描いている。
M	マンガ	女の子がいる場所は	やまじ えびね	KADOKAWA	2022	87395	一夫多妻が認められているサウジアラビアに暮らすサルマ。同級生の姉は顔も見たことのない8つ年上の人と結婚する。外ではヴェールが必要で、大好きだったサッカーはもうできない。モロッコ、インド、アフガニスタン、そして日本。変わりゆく世界に息づく10歳の少女たちの物語。
M	マンガ	娘がいじめをしていました	しろやぎ秋吾	KADOKAWA	2023	87627	ままならない日々を描くコミックエッセイシリーズ（「立ち行かないわたしたち」シリーズ）。我が子がいじめの当事者と知ったら、あなたは どうしますか—？ 中学時代にいじめられた経験をもつ母親が、自分の小学5年生の娘が同級生をいじめている事を知り、家族で謝罪に向かう。子供への不信任、SNSで巻き起こる炎上、様々な問題に翻弄される二つの家族。自分の子供がいじめの当事者と知った時、「正しい対応」とは果たして何なのか？いじめ問題を加害者家族、被害者家族双方の視点から描く、意欲的セミフィクション。